

自然災害などの複合災害で想定される実動組織の活動例

- 福井県・京都府・滋賀県と関係町村との調整を踏まえ、必要に応じ広域応援を実施。

警察組織

- ✓ 現地派遣要員の輸送車両の先導
- ✓ 避難住民の誘導・交通規制
- ✓ 避難指示の伝達
- ✓ 避難指示区域への立ち入り制限等



消防組織

- ✓ 避難行動要支援者の搬送の支援
- ✓ 傷病者の搬送
- ✓ 避難指示の伝達



海上保安庁

- ✓ 巡視船艇による住民避難の支援
- ✓ 緊急時モニタリング支援
- ✓ 漁船等への避難指示の伝達
- ✓ 海上における警戒活動



防衛省

- ✓ 緊急時モニタリング支援
- ✓ 被害状況の把握
- ✓ 避難の援助
- ✓ 人員及び物資の緊急輸送
- ✓ 緊急時の避難退域時検査及び簡易除染
- ✓ 人命救助のための通行不能道路の啓開作業



避難退域時検査場所における 汚染水・汚染物の処理について

平成29年 3月1日

関西電力株式会社



スクリーングポイントにおける避難退域時検査及び簡易除染

○除染方法は原子力規制庁作成の「原子力災害時における避難退域時検査及び簡易除染マニュアル」による。

①住民の簡易除染

住民の簡易除染は、OIL4(40,000cpm)以下にならない場合は脱衣してもらい、ウェットティッシュ等で拭き取る。

それでも、OIL4以下にならない場合は更に流水を使用して簡易除染を行う。



避難退域時検査に用いるGMサーベイメータ



GMサーベイメータの検出面

②車両の簡易除染

車両の簡易除染は、OIL4(40,000cpm)以下にならない場合は、ウェットティッシュ等で拭き取る。

それでも、OIL4以下にならない場合は更に流水を使用して簡易除染を行う。

(洗車ではなく、拭き取った後の、値が下がらない部分の局所を少量の流水で洗い落とす。)



車両の外側で放射性物質が付着している可能性が高いワイパー部、タイヤを中心に検査・除染する

避難退域時検査場所[スクリーングポイント]における汚染水・汚染物の処理について

汚染水・汚染物の発生と現地処理

①スクリーングポイントで発生する廃棄物として、汚染水は局所を洗い落とした流水、汚染物はウェットティッシュ、ゴム手袋、防護服等が考えられる。

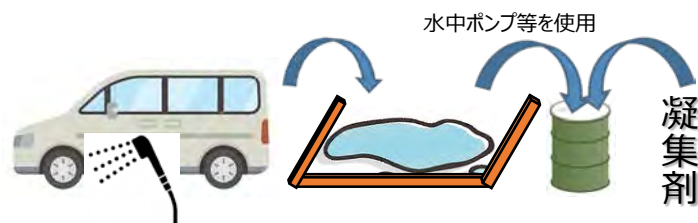
②ウェットティッシュ等は、ドラム缶・ポリ容器等の密封容器に入れる。

③流水は、水中ポンプ等を使用し、ドラム缶・ポリ容器等の密封容器に入れる。密封容器に溜めた流水に凝集剤を添加し、放射性物質を沈降させる。

※汚染の無い上澄水の取扱いについては、別途調整する。



ウェットティッシュ等はドラム缶等に入れる



流水はドラム缶等に入れ、凝集剤を添加し、放射性物質を沈降させる

汚染水・汚染物処理

スクリーングポイント



発電所外へ搬出

スクリーングポイントで発生した汚染水・汚染物はドラム缶・ポリ容器等の密封容器で運搬

放射性物質の性状（核種・濃度等）に応じて、発電所設備で安全に処理できることを確認の上、適切に処理する